



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度RIテーマ
【職業奉仕米山月間】

会 長：岩切正司 幹 事：柳田光寛
副 会 長：佐藤高元 会報委員長：林 厚雄
会 計：荒武義博
事 務 局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255
TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788
携帯：090-2078-0483 齊藤美喜代

例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
TEL：0985-73-0109

次週 11月23日プログラム予定 勤労感謝の日の為 休会

第907回 平成17年11月16日(水)

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. 会 長 の 時 間
- 3. 幹 事 報 告
- 4. 委 員 会 報 告
- 5. 社 会 奉 仕 賞
(社会奉仕委員会)
- 6. ク ラ ブ 協 議 会
- 7. 点 鐘

- 宮崎市大字大瀬町(約50ha元宮崎市有林)
- 2) 事業参画団体(7市町、1組合、1法人)
- ア 市町村；宮崎市、清武町、田野町、佐土原町
- イ 組 合；西都児湯環境整備事業組合(西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町、7市町村で設置)
- ウ 法 人；財団法人宮崎県環境整備公社(事業実施主体)
- 設 立；平成7年3月31日
- 役 員；理事18名、幹事2名
- 評議員；15名
- 職 員；副理事長、常務理事、事務局職員以下19名
- 3) 整備施設
焼却溶融施設・リサイクル施設・管理型最終処分場(処分場・浸出水処理施設・浸出水調整地)・管理共同利用施設(啓発学習施設、展示施設等)・防災調整地
- 4) 総事業費(予定額)
約362億

第906回の記録 平成17年11月9日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君

皆さんこんにちは 今日職場訪問はエコクリーン宮崎です。今日は職員の方に施設の案内をして頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

エコクリーンみやざきの概要

1. 基本的な考え方
「エコクリーンプラザみやざき」は、県央地区14市町村の一般廃棄物の広域処理と公共関与による県内全域を対象とした産業廃棄物のモデル処理を行うため、県央14市町村と公社とが14年から共同事業として、焼却溶融施設、リサイクル施設及び管理型最終処分場等を一体的に整備してきたものです。

当施設は、建設地周辺環境の保全に配慮しながら、事業の効率化を実現し、安心安全な施設として運営できるよう整備してきたものです。

2. 事業概要
 - 1) 建設地



ロータリー財団

国際ロータリー資料より

ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。毎年あなたも100ドルを」推進活動は、世界中のロータリアンに全面的にロータリー財団に参加することを奨励する7つの促進計画から構成されています。財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「毎年あなたも100ドルを」推進活動の目的が以下の2点であることを確認しました。

- 毎年、真に世界に違いをもたらす財団の人道的あるいは教育的プロジェクトに参加するよう、すべてのロータリアンに奨励する。
- 毎年、財団の年次プログラム基金に寄付するよう、すべてのロータリアンに奨励する。

国際ロータリーのロータリー財団は、創設当初より、対応が迫られる人道的な課題に取り組むことを誇りとしてきました。ボランティア精神と寛大な慈善活動を通じて、ロータリアンは、ポリオを撲滅し、世界中で人道的、教育的、文化交流のプログラムを推進する財団使命の中核を成しています。世界で善行を推進する世界的リーダーとして、ロータリアンは一致団結し、有意義な方法で人々の人生や生活を変えています。すなわち、世界理解と平和を育むために、人々の間に懸け橋を渡すという方法です。すべてのロータリアンがこの機会にロータリー財団に参加し、財団の数々の素晴らしいプログラムの発展と持続をご支援くださることを私たちは願っています。年次プログラム基金への「毎年あなたも100ドルを」の寛大な支援によって、紛争の解決、人権の擁護、疫病の撲滅、飢餓救済、子供や成人への教育を通じて、恵まれない地域社会を建て直すことができます。ロータリー・クラブと地区が成果を達成するのを支援するため、定期的に新しい情報や支援資料を掲載いたします。年次プログラム基金への寄付は、明るい未来をすべての人々にもたらします。「毎年あなたも100ドルを」に参加されることでどれほど多く善行を実現することができるかを、想像してみてください。

あなたの年次寄付でロータリー財団が達成できること

米貨100ドルの寄付は以下を提供する助けとなります。

- ザンビアの1つの小学校に教科書。
- ガテマラの荒涼地域の植林を援助する1,000の苗木。
- パキスタンの聴覚障害児童1人に補聴器。
- フィリピンの112人の子供たちの虫下し。
- インドの3人の視覚障害者の白内障の手術。
- 韓国の冬季を通じ高齢者たちの230枚の毛布。

米貨500ドルの寄付は以下を提供する助けとなります。

- フィリピンの障害者6人のための時計修理業を設立。
- ペルーにおいて遠隔の水辺村落に公共保健を提供する

- 医療船の安全装置配備。
- タイ・カンボジアの12人の身体障害者に義肢の提供。
- マリの20人の青年に養蜂技術の研修と資材を提供。
- コロンビア、カールタジェナの貧しい視覚障害児童2人を聾啞児童学院へ通わせる奨学金2口を提供。
- メキシコの貧しい母親たちに自立自助の生活に結びつく能力を身に付けさせるために、5つの小規模縫製業を持たせる。

米貨10.00ドルの寄付は以下を提供する助けとなります。

- インドで、300人以上の人々に清浄な飲料水を提供するため、掘り抜き井戸を設置するのに必要な資材を全て提供。

- ブラジルのウルグアイアナの貧困児童に寄生虫と貧血症を治療し予防するための必需品を提供。
- 700軒の農家の収入を増やすため、ジャマイカに年間5,000本の苗木を育てる苗木仕切り場の設立。
- インド、カルカッタの25名身体障害者に義足を提供。
- ペルーのアレクイパにあるチャベス・デラローザ孤児院に台所を提供。
- 韓国の冬季を通じ高齢者たちの230枚の毛布
- 内戦により経済が崩壊し、子供たちが蛋白質とカルシウム欠乏で死亡しているウガンダで、戦争未亡人のために牛を一頭購入し、畜産の訓練を提供。

出席状況 第903回 平成17年10月19日

会員数	29名	欠席者数	6名
出席者数	23名	メイクアップ	2名
出席率	76%	修正出席率	86%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか